

Rotary Club of Sanuma  
2025-2026年度  
**VOL 62**

# 週報

佐沼ロータリークラブ

佐沼ロータリークラブ  
2025-2026テーマ

還暦を迎えて、  
新たなスタートを切る  
一年へ

**UNITE FOR GOOD**

よいことのために手をとりあおう

2025-2026年度 国際ロータリー会長のメッセージ

会長 布施 孝 尚  
幹事 加藤 亮 夫  
会報 猪 股 育 夫

例会場 ホテルサンシャイン佐沼  
☎22-8180 FAX22-0327  
例会日 毎週木曜日 12:30~13:30  
事務所 ホテルサンシャイン佐沼  
☎22-8180 FAX22-0327



佐沼RCホームページ

## 第2985回例会 2026. 2. 5 No.27

### 本日の出席率

・本日の出席率 46%

### ニコニコボックス

- ・布施孝尚会長 2月誕生日の皆さん、おめでとうございます。佐藤利尚委員長のフォーラムに期待。
- ・佐藤利尚会員 本日は次世代委員会のフォーラムです。よろしくお祈りします。
- ・阿部泰彦会員 佐藤利尚委員長のフォーラム、お疲れ様です。
- ・菅原慶一会員 佐藤利尚委員長のフォーラムに期待
- ・伊藤幸子会員 2月お誕生の皆様おめでとうございます。本日のフォーラムに期待します。このまま春になったらいいですね！
- ・森田峯男会員 佐藤利尚委員長のフォーラムに期待。
- ・加藤亮幹事以下 本日のフォーラムに期待。  
千葉吉男会員 佐竹孝行会員 佐々木源悦会員  
岩淵正彦会員 高橋利光会員 富士原裕子会員  
武川毅会員 及川昭宏会員 佐藤早智子会員  
千葉正宏会員 村上正弘会員 及川幾雄会員  
千葉正洋会員 吉田佳代会員 千葉純子会員  
以上、ありがとうございました。

### 会長要件 布施孝尚会長

2月に入り、立春を迎えました。我が家では少し早めではありましたが2月1日(日)の夜に、孫たちと一緒に豆まきをいたしました。生まれたばかりの赤ちゃん、2歳と3歳の男の子、そして小学5年生の男の子と、なかなか賑やかな豆まきとなりました。

今年は少しイレギュラーで、妻が鬼役を務めることになりました。鬼としてはあまり迫力がないのでは、と思われる方もいらっしゃるかも知れませんが、実際に全く怖くない鬼でした。それでも、2歳や4歳の子どもにとっては、やはり本気で怖かったようです。特

に2歳の孫は、私のすぐそばから離れようとせず、「鬼は外」と声をかけても、怖さのあまり豆を投げるというより、手を前に差し出すだけで精一杯でした。声も出なかったのかもしれない。

振り返ってみますと、私自身もいろいろなことが怖かった記憶があります。夜トイレに行くのが怖くて行けなかったり、その結果おねしょをしてしまい叱られたこともあったように思います。

世の中には怖いものがある。これは実は身分を律するための一つの役割を果たしているのではないか、そんなふう感じております。

私はお寺の保育園に通っておりました。悪いことをするとお堂に入れられ、出られなくなります。「出してください、もうしません」と泣いて謝った記憶があります。また、「ののさまは、口では何も言わないが、僕のしたことを知っている」という歌もありました。誰も見ていなくても、仏様はちゃんと見ている。だから悪いことをしてはいけない、という教えであります。そうした少し怖い思いや厳しい経験も含めて、幼い頃感じたことは、大人になった今でも、どこかで自分の支えになっているのではないかと感じております。

本日は、2月に入って最初の例会です。2月にお誕生日を迎えられる、鈴木彦衛会員、高田浩成会員、菅原慶一会員、佐竹孝行会員の4名の方々、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

また、本日の例会は、次世代奉仕委員会の佐藤利尚委員長によるフォーラムです。青少年の野球大会や剣道大会、さらには今月の青少年善行者表彰など、大変お忙しい中ご尽力をいただいております。フォーラムに皆様とともに大いに期待いたします。

### 幹事報告 加藤亮幹事

- ・ガバナー事務所より  
米山奨学生の世話クラブとカウンセラーの引き受けについてのお願いが届く

- ・奨学生氏名：スロヨ・サントソプテロ (男性、インドネシア)
- ・大学名：東北大学・修士1年(化学専攻)
- ・奨学期間：2026年4月1日～2027年9月30日
- ・承諾書・回答用紙提出期限：2026年2月27日
- ・ロータリーマガジン(英語版)2月号が届く
- ・ロータリー手帳の注文書が届く
- ・2月のロータリーレート 1ドル=154円
- ・例会終了後、理事会開催

### 誕生祝 (2月に誕生日を迎えられる会員)

鈴木彦衛会員 高田浩成会員 菅原慶一会員  
佐竹孝行会員



2月に誕生日を迎えられる会員

### フォーラム

・次世代奉仕委員会(佐藤利尚委員長)  
次世代奉仕委員会の事業報告をさせていただきます。「次世代の笑顔が地域の未来を創る」と題し、11月、12月に行われました、野球大会と剣道大会の報告をさせていただきます。

1. 第49回佐沼ロータリークラブ旗兼第11回宮城登米リトルシニア杯争奪少年少女野球大会

本大会は、半世紀近くにわたり絶えることなく引き継がれてきた、登米市の冬を彩る歴史ある行事です。長年、地域に根ざした「風物詩」として親しまれています。最大の特徴は、会員自らが調理し選手たちに提供する真心の込めた温かい「うどん」です。「食」を通じた交流は、子供たちにとって何よりの楽しみとなっており、別名「うどん大会」として記憶されるほど、子供たちの心に残る大切なおもてなしとなっています。

本年度は、3会場での同時開催に加え、例年協力いただいている産業高校のボランティアが不在という、深刻な人手不足が懸念される中でのスタートでした。しかし、大畑副会長をはじめ、委員会メンバーまた多くの会員の皆様、リトルシニアや各チームの保護者の皆様、審判員の皆様に多大なるご協力をいただいたおかげで、無事に事業を完遂することができました。心より感謝申し上げます。

一方で、運営面では課題も残りました。準備段階での油断から、うどん用の器の買い忘れや備品配分のミスが発生し、急な出費を招いてしまいました。また、例年通り弁当の余剰も多く出てしまい、物価高騰が続く中で経費削減を徹底できなかった点は大きな反省点です。さらに会員減少により閉会式のメダル授与も人

手不足で難航いたしました。今回の経験を糧に次年度以降の改善に繋げてまいりたいと思います。

- ・次年度(50周年大会)への引き継ぎ事項
  - (1)早期準備の着手：次年度は50周年記念大会となります。規模や特別な演出も予想されるため、早期の着手が必須です。
  - (2)開催予定日の検討：案A-9月21日(月)、22日(火) 案B-11月14日(土)、15日(日)。候補日を軸に、早急に確認し、決定する。
  - (3)運営システム化(準備物リストの共有)：詳細な「準備物チェックリスト」を作成し、書面で可視化することで、漏れのない体制を構築すること。
  - (4)徹底した経費削減(弁当発注の最適化)：出席確認と同時に弁当の要否を必ず確認し、廃棄ロスと経費の削減に努める。

2. 第41回登米市剣道スポーツ少年団学年別選手権大会 第43回佐沼ロータリークラブ旗争奪登米市少年少女剣道大会

本大会は、武道を通じた「礼儀作法の修得」と「心身の鍛錬」を支援することを目的として開催しております。運営にあたっては、登米市剣道スポーツ少年団連絡協議会との強力なバックアップ体制のもと、地域一丸となって取り組んでおります。

- ・現状の課題
  - (1)参加者の減少：少子化の影響を受け、競技人口および参加者が減少の傾向にあります。
  - (2)運営の外部依存：運営の大部分をスポーツ少年団に一任しているため、パンフレットや賞状の内容が当日まで確認できないという状況が発生しており、チェック体制に不安が残ります。

- ・反省点と次年度への引き継ぎ
  - (1)お弁当の最適化：野球大会同様、例年弁当が余る傾向にあります。次年度は出欠確認と同時に「弁当の要否」まで正確に把握し、無駄なコストを削減してください。
  - (2)事前確認の強化：パンフレットや賞状は、事前に内容を確認できるよう協議会との連絡(連絡協議会などを通じた窓口調整)を強化し、当日ミスが発覚するリスクを回避してください。
  - (3)物価高への対応：メダル代が高騰しています。予算を圧迫する要因となるため、早目にメーカーと打ち合わせを行い、価格交渉や在庫確保に動く必要があります。

### ◎次世代奉仕の役割とロータリー理念の伝播

私たちの役割は、単に競技の勝敗を競う場を提供することではありません。本事業を通じて、ロータリーの精神である「超我の奉仕(Service Above Self)」を次世代に伝え、地域社会に貢献する心を育むことに真の価値があります。半世紀続く「うどん」の振る舞いなどは、まさにその理念を体現した当委員会の誇るべき伝統です。

### ◎会員・関係者の皆様への謝辞

早朝より会場設営から運営まで、多岐にわたり多大なご協力をいただきました会員の皆様、そして参加者の皆様に心より感謝申し上げます。この事業は、委員会メンバーだけの力では決して成し遂げることはできません。皆様お一人おひとりの献身的な支えがあってこそ、子供たちの笑顔を守ることができました。